

平成24年度 選手育成・強化基本計画

公益財団法人 滋賀県体育協会

【基本方針】

平成24(2012)年度は、滋賀県生涯スポーツ振興計画「滋賀のスポーツデザイン2010」の3つの柱の1つである『競技力の総合的な向上方策』の重点目標(高い競技レベルを有する選手が滋賀県の代表として、世界や全国で活躍することは、多くの県民に誇りと夢を与えるとともに、スポーツ活動への参加を促すことから、こうした大会で活躍できる競技者の育成を図る。)を強化基本計画の柱にし、2巡目滋賀国体も視野に入れながら『ジュニア世代の育成』を中心に、『競技団体の育成』『指導者の育成』の基本方策のもと、以下の3つの目標を掲げて取り組み、スポーツに対する理解と協力を得られる選手育成、選手強化を目指す。

【目標】

- 1 世界で活躍する選手や、国民体育大会をはじめとする各種全国大会での入賞数の増加を目指す。
 - ・第67回国民体育大会目標 入賞数(全種別) 18競技以上 / 40競技
 - ・高体連目標 全国大会目標 入賞数 13競技以上 / 36競技
 - ・中体連目標 全国大会目標 入賞数 6競技以上 / 19競技
- 2 第67回国民体育大会において、男女総合成績(天皇杯順位)20位台への進出を目指す。
- 3 2巡目滋賀国体調査検討委員会の報告書をもとに、開催に向けた準備を図る。

【基本方策】

上記の目標を達成するための基本方策を『ジュニア世代の育成』『競技団体の育成』『指導者の育成』とする。

1 ジュニア世代の育成

本県競技力の基盤であるジュニア世代の育成を図ることは、将来的な競技力の向上に繋がることから、本県選手強化の中心におくこととする。

小学生から高校生を軸に大学生とも連携し、世代を越えた選手育成、選手強化の方法を取り入れる。

2 競技団体の育成

世界や各種全国大会において活躍できる競技者の育成のため、特別な強化(選手指定強化・医学サポート)を図る。また強化対策や大会運営の核となる競技団体の組織強化を図る。

3 指導者の育成

競技力の向上を図る上で優秀な指導者は不可欠である。このため、各競技の中心として活躍できる指導者の育成を図る。

【事業計画】

1 ジュニア世代の育成・強化

(ア) 中学生育成・強化

中学校体育連盟育成・強化対策事業（専門部強化）

国民体育大会や全国中学校総合体育大会において優秀な成績を収めるため、県体育協会から補助されるスポーツ育成・強化対策費をもとに、当該競技専門部と調整の上、計画的・有効的な強化事業の推進を図る。

(イ) 高校生育成・強化

高等学校体育連盟育成・強化対策事業（専門部強化）

国民体育大会や全国高校総合体育大会において優秀な成績を収めるため、県体育協会から補助されるスポーツ育成・強化対策費をもとに、当該競技専門部と調整の上、計画的・有効的な強化事業の推進を図る。

高等学校運動部指定強化事業

国民体育大会や各種の全国大会等で優秀な成績を収めるため、競技力の高い高等学校の運動部を指定し、当該高等学校運動部と調整の上、計画的・有効的な強化事業の推進を図る。

(ウ) 一貫指導育成・強化対策事業

競技団体毎の育成プログラムに基づき、系統的・継続的な指導により、ジュニア選手の発掘・育成を図る。

2 競技団体の育成・強化

(ア) 競技団体育成・強化対策事業

各競技団体の競技力向上対策を支援するとともに、各種大会運営等の中心となり得るよう、当該競技団体の組織強化を図るため、年間を通じ支援を行う。

(イ) 選手指定強化対策事業

国民体育大会等の全国大会において優秀な成績を収めるため、安定した競技力を有している競技種別（種目）や個人を重点指定し、一層の競技力向上のための支援を図る。

(ウ) 本国体躍進強化対策事業

ブロック大会を突破し、本国体でより確実に入賞するため一層の強化を図る。

(エ) 医科学サポート事業

各競技団体の強化選手を対象として、強化活動が安全で効果的におこなわれるようにスポーツ医科学スタッフ組織の充実を図り、実践的医科学サポートシステムの確立を図る。

3 指導者の育成

エクセレントコーチ育成事業

高い競技力を維持継続するためには、指導者の世代交代を常に図っていく必要があるため、若手指導者育成の支援を図る。

4 競技力向上に関する課題

(ア)連絡協議について

滋賀県体育協会と県教育委員会、中学校体育連盟、高等学校体育連盟等とが情報交換を行い、諸課題についての協議を行う。また、選手強化に努める企業や大学等との連携を図る。

(イ)ジュニア世代からの選手育成・強化対策について

ジュニア世代からの選手育成・強化に対する諸課題について関係者・関係団体と検討し、実行に移していく。

(ウ)見える選手育成・選手強化の検討について

多数の県民がスポーツに興味・関心をもてる選手育成・選手強化の方策を検討する。

5 2巡目滋賀国体調査・検討委員会報告書の活用

平成36年に開催が予定されている2巡目滋賀国体の開催にむけて、諸課題を調査・検討した報告書を活用し、開催に向けた準備を進める。

6 競技スポーツ広報活動の推進

競技スポーツが広く県民に広報されることは、競技スポーツの持つ多くの成果を県民が共通に享受でき、競技スポーツの振興を図る上でも重要である。

そのため、報道機関等に対し、積極的に広報活動を推進するとともに、広報システムの充実に努める。

7 近畿ブロック大会開催について

平成26年に滋賀県で開催される、近畿ブロック大会の準備をすすめる。